

優良賞 題名 一つの行動で人を笑顔にする

涌谷中学校 三年 岩淵 心春

みなさんは、ボランティア活動をしたことはありますか。私は小学校の頃に授業の一環として、草取りをしたことしかありませんでした。しかし、私はいつも思っていたことがあります。それは、「町のためにもっと貢献したい」ということです。

そのようなことを思いながら過ごしていたある日のことです。朝登校する時に地域の方が朝早く草取りや、小学生などが安全に登校できるようにサポートしている光景を目にしました。私はその時、今まで安全に過ごせていたのは地域の方のおかげだったのだと思いました。

その日をきっかけに、まずはちよつとしたことからスタートしようと思ひ、ゴミ拾いをはじめました。一週間に一回は必ずすると心に決めた日から一ヶ月後のことです。私は中学生になり、部活動と勉強の両立が難しくボランティアをしなくなっていました。特に部活動は毎日のように練習で家に帰ってもすぐ疲れて寝てしまうという日々が続いていました。

私が毎週ゴミ拾いをしていた時に必ず近所のおばあさんにいつも声をかけてもらっていました。おばあさんはいつもニコニコしていて「頑張つてね」や「すごいね」などちよつとした言葉でもかけてくれていて、私にとってはとても嬉しくてやりがいを感じさせてくれていました。

いつも通り登校していた日です。私が歩いているとうしろから声がして振り向くとあのおばあさんがいました。

「お久しぶり、いつもありがとうね。」

私はその時とても嬉しい気持ちになりました。毎週頑張っていたことが役に立ったと思ひ、やつと町に貢献できたと実感しました。

今まで私は、ゴミ拾いをして通りすぎた方にあいさつしかされませんでした。いつも声をかけてくれたおばあさんの「ありがとう」という言葉は私にとってかけがえのない言葉となり、自分を変えるきっかけとなりました。

その言葉を言われてから私は、必ず月一回ゴミ拾いをすることにしました。部活動の練習の関係上ゴミ拾いの回数は減ってしまいましたが、私がゴミを拾いに行くとき必ずおばあさんが来てくれて笑顔で毎回声をかけてもらえます。そのおかげで私のやっていることは町や地域の方々、そしておばあさんを笑顔にしていると気付きました。これからもたくさん笑顔を集めて涌谷町全体を笑顔いっぱいにしていきたいと思ひま

す。